



かながわ 女声コーラスフェスティバル2021

昨年は、新型コロナウイルスの影響で直前に中止となった「おかあさんコーラス大会」。今年こそは何とかして開催をと準備をすすめましたが、コロナは収束を見るどころか、第4波を迎える事態となりました。

今年度も、その新型コロナウイルスの影響に鑑み、全日本合唱連盟と協賛のキューピー株式会社様の協議により、「県大会および支部大会の中止」が発表され、神奈川県大会も中止いたしました。しかし、8月の全国大会は予定通り開催されるとのことで、関東支部は「演奏音源聴取による代表推薦事業」を行うことにより、全国大会への推薦団体を決めることになりました。

神奈川県としては、暗中模索のすえ、最終的には、独自事業として「かながわ女声コーラスフェスティバル2021」というYouTubeを活用した限定公開での動画審査を行うことを企画し、選考委員に清水昭先生、しゅうさえこ先生、佐藤美紀子先生をお迎えして、6月1日(火)～5日(土)に無事に開催されました。

昨年から練習を思うように積み重ねることが

出来ない状況ではありましたが、9団体、182名の参加を得ての開催となりました。YouTube動画制作についてはご苦労も多かったと思いますが、参加された9団体は初めての試みにチャレンジしてくださいました。

動画での各合唱団は、会場や録音・録画環境、マスクの有無や色や形状もさまざま…表情を窺い知ることはほとんどできませんでしたが、その分、熱意がひしひしと感じられる声が響き渡り、久しぶりに神奈川県の合唱団の勢いのある演奏を視聴することができました。

選考の結果は、優秀賞5団体、優良賞4団体で、そのうち関東支部への希望7団体が7月の「演奏音源聴取による代表推薦事業」に推薦されました。

来年こそは、お客様を前にスポットライトを浴びたステージを華々しく開催したいと切に願ひ、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

かながわ女声コーラスフェスティバル実行委員長
高根 敏子

今回は YouTube を活用した大会となり、一般の方々には演奏の様子をご覧いただくことができませんでしたので、選考委員の先生方にコメントをいただきました。

ステキな笑顔

先日行われました「かながわ女声コーラスフェスティバル 2021」の感想を一言述べさせていただきます。まず、今回は YouTube 限定公開動画での開催という形態でしたが、皆様のお熱演の数々で、楽しく講評と審査をする事ができました。ありがとうございました。また、それぞれの合唱団の長所を生かす選曲で「いい音楽だなあ、いい曲だなあ」と感じる場面も多々ありましたし、撮影会場の選択、カメラワークなど、動画撮影ならではの工夫もまた印象に残りました。そして皆様「コロナ禍でも合唱ができる」幸せを感じていらっしゃるのでしょうか。ステキな笑顔にたくさん出会えたのが何よりも嬉しかったです！

さて今年は参加を見合わせた合唱団も多かったのではないのでしょうか。来年はコロナが収束に向かい、ホール開催、有観客での「おかあさんコーラス神奈川県大会」として、たくさんの合唱団の生演奏が聴けますように願っております。

清水 昭

♪かながわ女声コーラスフェスティバル 2021 ♪

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思うような練習ができない中、9団体の皆様が動画エントリーをされ、それぞれ現状の中で出来る最高の心温まる歌声を聴かせてくださいました。

マスク着用での合唱団が多数でしたが、衣裳やマスクの色、スカーフに至るまで工夫を凝らしていらっしゃる団もあり、歌われている姿はとても輝いていて、本当に皆さまコーラスがお好きなんだなあ（そんな当たり前のことにも!!）とても感動しました。

ところで、全体を通して今回、特に感じたのが“マスクを着けて歌うことの難しさ”です。これは大きなチャレンジですね。明確な発音、顔や目の表情、自分の音程や周りとのハーモニーを聴く意識など、美しいコーラスを目指すのに立ちちはだかる大きな壁にマスクがなっていたのではないかと思います。たとえマスク着用でも、より大きく口を開け、よりたくさん顔を動かし、より耳を澄まして・・・今ならではの小さな意識がコロナ収束後の大きな進化にきっと繋がっていくと思います。

どのような状況でもコーラスを楽しめるという特技に益々磨きをかけて、これからも楽しく歌い続けていかれたら嬉しいです。

しゅう さえこ

かながわ女声コーラスフェスティバル 2021 を振り返って

「緊急事態宣言」、続く「まん延防止等重点措置」が発令される中、実行委員会、事務局の皆様方のご苦勞が実り、フェスティバルが開催されましたことを感謝申し上げます。また、不安な気持ちを抱えながらも熱心に練習された参加団体の皆様と、それを支える指揮者の先生方の情熱に頭の下がる思いが致しました。

参加された9団体は、通常以上の完成度で演奏され、動画からでも温度感が伝わってくるような熱い演奏でした。鬱々とした社会状況を跳ね飛ばすような選曲、流麗なフレーズ感溢れる歌声に、涙が出るような感動をいただきました。録音状況が異なる中での審査は難しく、皆様、最優秀賞!!とお考えいただければと思います。また、さすが女声コーラス、マスクが衣装の一部となる団体も多く、楽しませていただきました。皆様方のように鍛錬された母音はマスクの影響はほとんどないことが、オシロスコープ（音の波動をスクリーンに映す機械）で確認できます。ただ“m、n、h”の子音はマスクを通しにくく、着用を前提とした練習方法が必要ですね。

ワクチン接種が進み感染状況が収束した時、希薄になった社会に人の繋がりをもたらす合唱は、今まで以上に大切なものになると信じています。笑顔いっぱい皆で歌える日々が、一日も早く戻ることを祈っております。

佐藤 美紀子

かながわ女声コーラスフェスティバル 2021 審査結果

出演順	団体名	賞	関東支部への推薦
1	コール・モモ	優良賞	※
2	湘南はまゆう	優秀賞	○
3	ブルーポロニア	優良賞	○
4	合唱団たまとも	優良賞	※
5	アンサンブル・ピノ	優秀賞	○
6	あんさんぶる“風雅”	優良賞	○
7	女声合唱団「松」 ^{SHO}	優秀賞	○
8	緑フラウエンコール	優秀賞	○
9	ラ・カンパネラ	優秀賞	○

関東支部への推薦：

※印は、関東支部への推薦を希望しなかった団体（事前申告）

2021年度神奈川県合唱連盟 定時総会報告

2021年度の定時総会は、当初5月15日(土)に開催する予定でしたが、コロナ禍のもと昨年に引き続き「総会資料による文書審議」といたしました。

今年度の事業計画の主な変更点はつぎのとおりです。

- ・おかあさんコーラス：YouTubeによる動画審査・選考に切り替え
- ・合唱祭：3日間開催に短縮
- ・合唱コンクール：県立音楽堂の20名制限により、日程・会場の変更や、動画審査への切り替えを検討
- ・アンサンブルコンテスト：1日開催に切り替え

審議結果は、会員総数269会員中171会員の参加により総会が成立し、2021年度のすべての議案が「承認」されました。

今年に入っても多くの合唱団が練習休止を余儀なくされ、おかあさんコーラス、合唱祭とも参加団体数は例年の半分以下に減少しており、昨年に引き続き赤字予算を組まざるを得ませんでした。実行面では、徹底した経費節減に務め、赤字解消に向けて取り組む所存ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

(神奈川県合唱連盟 事務局長 岩淵 正観)

県連からのお知らせ

◆ 第27回 ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル

今年のヴィサンは、みなとみらいホールが改修工事のため、やまと芸術文化ホールで開催されます。

今回は、新型コロナウイルスの影響で演奏機会を持てなかった合唱団が数多く参加できるよう、平均年齢60歳以上という年齢制限をなくしました。感染対策のため、舞台上では6名以上40名以内という制限がありますが、複数グループに分かれて参加することも可能です。どうぞこの機会にぜひステージでの本番を味わってください。ご参加お待ちしております！

◆ 第24回 かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

昨年度はYouTubeでの開催となりましたが、今年度はステージでの演奏を予定しています。2日間ではなく1日での開催となりますが、ワクチン接種が進み、多くの合唱団の皆さんが参加されますようお願いしております。

新理事紹介



氏名	明田 由佳
所属合唱団	個人会員
パート	ソプラノ
趣味・特技	趣味：ワイン 特技：大体のことは笑い飛ばせる!!
抱負	これまでたくさんお世話になった県連に少しでもご恩返しができますように…



氏名	有吉 祐人
所属合唱団	横浜国立大学グリークラブ
パート	ベース
趣味・特技	野球観戦(山口県出身なのでカープファンです)
抱負	コロナに負けず、合唱の楽しさを次世代に継承します!

コロナ禍における合唱活動

コロナ禍の中で様々な制約や困難な状況の中でも、工夫をして活動を続けている合唱団をご紹介します。

今回は、150名の団員を擁する湘南フィルハーモニー合唱団がミュゼ川崎で開催した、メンデルスゾーン作曲オラトリオ「エリヤ」の演奏会を取り上げました。

演奏会レポート ～湘南フィルハーモニー合唱団 第28回定期演奏会～

まず初めに、この演奏会を鑑賞するにあたり、「よくぞ！」という言葉がふさわしいと感じていた。新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、対面で効果を発揮するほぼ全ての文化が活動自粛になった。音楽、特に合唱は、適切な策を講じなければ、飛沫による感染拡大が懸念される科学的な見方だけでなく、主観的な世間からの視線に後ろめたさのようなものを感じさせられてしまう辛い時期が今でも続いている。そのような背景の中で、オーケストラ付きの合唱作品の演奏をアマチュアの合唱団が開催することは大変意義深く、興奮しながら会場に向かったことを鮮明に覚えている。

感染対策は例えば以下の通りの施策が打たれていた。まず合唱団とオーケストラの配置である。会場のミュゼ川崎シンフォニーホールの構造は中央のステージを360度取り囲むヴィンヤード形式であり、ステージ後方の座席に100名強の歌手が、下手側からソプラノ、テノール、ベース、アルトの順に、一席ずつ空ける市松模様に配列された。指揮者から最も離れた歌手の距離はおそらく30m以上はあっただろうか。また、歌唱時はマスクを着用し、黒のフォーマルな衣装に合うようマスクの色も黒に統一されていた。客席も市松模様の指定席、おしゃべり禁止で、演奏を今か今かと待ちわびる、ソワソワとした空気が静まり返ったホール内に満ちていた。

さて、いよいよ演奏開始である。曲の解説は割愛するが、オラトリオ「エリヤ」は旧約聖書に登場する預言者エリヤの生涯を題材にしている作品であり、「イスラエルの地から雨が途絶えるだろう」という預言の序唱から

始まる。その序唱の後に、干ばつによる人々の困窮や不安、焦りを模したような不穏な序曲が続き、半音進行や上昇進行によるフラストレーションが最高値に達した時に合唱が第一声を発する。“Hilf, Herr! (主よ、助け給え!)”と。この気迫のこもった第一声がとても鮮烈であり、聴衆全員が曲の世界に惹き込まれる決定打になったと言っても過言ではないだろう。

おそらくこの記事をお読みの方の中には感染対策を講じた上でのサウンドについて関心があるだろうと思われる。マスクを付けての歌唱は、「エリヤ」のような全編ドイツ語の楽曲には大きな障壁であり、鍛錬が必要となってくる。また、ディスタンスを取った大規模な配置のため、テンポの速いセクションではテンポの緩みが、各声部が独立して動くポリフォニーな箇所ではテンポ感の乱れが生まれがちである。しかし、この日の演奏を聴いている限り、そのような事由によるストレスは少なく、演奏会に至るまでとても注意深く、じっくりと修練されたのだろうと舌を巻いたのが率直な感想である。

結びに、この演奏会を想像できないほどの準備を重ねた上で開催された湘南フィルハーモニー合唱団、共演者のみなさま、そして、音楽監督の松村努先生、演奏に関わった全ての方々へ敬意を評し、レポートを終えたいと思う。

謝辞 | 本記事で合唱指揮者の白井智朗さんが演奏会プログラムに寄稿された曲目解説文を一部参考にさせていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

(編集委員 中原 勇希)

湘南フィル団長にインタビュー

■ カノン編集部

Q 感染拡大後、練習再開に至るまでの経過について教えてください。

A 2020年3月以降、コロナウイルス感染拡大の状況下、合唱活動についても大きな変更が余儀なくされました。6月～8月に、感染のメカニズム、感染予防の方策等についての法律整備、国、地方自治体の対応、各団体、協会のコロナウイルス対応ガイドラインの整備が行われました。湘フィルはその時点で、これらの科学的な情報に基づいて、「ウイルスを正しく恐れよう」という勉強会を役員で行い、安全に練習するための方法、ルール、設備対応、教育等、湘フィル基準を作成して活動を再開しました。

参照) 湘南フィルハーモニー合唱団ホームページ(shop-phil.com)

Q 大所帯の湘フィルでは練習会場の確保は従来のようにできましたか。練習回数はいかがでしたか。

A ◆会場について 練習会場は、ウイルス感染対策を目的として全ての日程を300人～600人定員のホールで行っています。ホール予約は競争率も高いので複数の抽選に参加して会場を確保しています。予約担当者の負担が大きいのですが、幸い毎週良い練習場が確保できています。

◆練習回数について 緊急事態宣言発令期間以外は、この1年間、例年通り週1回の練習を実施してきました。通常は土曜の夜ですが、ホールが取れない場合、日曜の昼や夜になることもあり、団員は予定のやりくりをして対応しています。

緊急事態宣言発令の場合、会場は使用禁止となるので、自宅自習、バーチャル練習に切り替えます。まん延防止措置発出の場合は使用時間が20:00までとなるので、練習時間を短縮しています。

Q 毎回練習にはほぼ全員の方が参加されていましたが。

A 150人の団員のうち、基礎疾患がある方、勤務先等により合唱活動等が禁止されている方、個人の信条等で練習に参加できない方については、むしろ積極的に不参加を選択していただきました。残る120人で練習を行い、不参加の30人の方も含め全員に、毎回の練習録音や、団の活動情報をHPの団員のページにUPし、週に1回、団の状況を説明するメールを発信しました。120名は全員が演奏会のオンステ希望者で、コロナ対策での練習に移行してからは、毎回90～100数人の参加がありました。参加に際しては、毎週事前に出欠予定の申請をし、また、提出された問診票の集計により出欠者リストを作成しています。

Q 感染防止対策については、どのようなことをされておりましたか。

A これについては、湘フィル基準が策定されており、マニュアルに沿って厳格に運用されています。

◆入口規制 毎回、受付では、検温、問診票のチェック、アルコール消毒が行われています。これは、非常に厳格に実施されています。



湘フィル団員へは「正しく恐れよう」という科学的根拠に基づいた共通認識が周知されていて、ウイルスから自団を守る意識が非常に高いです。勤務先で陽性者が出た場合、あるいは、練習当日に体調が通常と異なると感じた場合(平熱であっても)、練習は自己判断で欠席するルールとなっています。実際に、この1年コロナウイルス陽性者は全く出ていません。自らの判断で

練習を欠席し、団に迷惑をかけないといった考えが浸透していることが功を奏していると考えています。

◆設備、実施方法 ①練習場としてホールの使用 ②ガイドラインに準拠したフォーメーション(縦、横、間に1列以上離れた市松模様 ③マスク着用(飛沫飛散防止の機能と歌いやすさを両立するマスクを研究) ④練習後は、寄り道せずそのまま帰宅する。⑤消毒はアルコール70%以上のジェル系消毒液を使用。⑥基本は、備品を消毒するのではなく、備品を触った手を消毒する。⑦練習中、定期的に個人で消毒する。⑧30分ごとに、換気休憩をとる。

Q 本番当日のミュージアムでの入館から退館までの流れを教えてください。

A 団員の流れ 自宅からステージ衣装で出発 → ホール来場 → 受付で、問診票提出、検温、消毒 → 発声(密を避けて時間差で団員を二分割) → ホールP席 → G P → 退場 → 駅近の店で食事 → ミュージアムに戻り発声 → ホールP席 → 本番 → 退場解散 → ステージ衣装のまま帰宅

Q 団長として、松村先生と共に大勢の団員を演奏会に向けてリードしていく上で、一番のご苦労は何だったでしょうか。

A なんであっても団の活動を止めない。どのような方法を使ってでも、練習を継続すること。

湘フィルは、早いうちから、方法はともかく活動を継続することを団員へ表明しました。緊急事態宣言で練習ができない期間は、松村先生はレッスン動画を作成し、役員は、Withコロナ時代の練習の準備を行いました。湘フィル基準作成、練習方法の検討、各種書類の作成。勉強会、団内制度改定(練習がないときも、団費を徴収し、レッスンビデオや、過去の練習録音をHPで提供する)等を行い、練習がない期間も非常に忙しかったです。

学校における合唱活動も大きな制約を受けていますが、地道な活動の中に新たな発見や喜びを見出していると、ご寄稿をいただきました。

第23回かながわ ヴォーカルアンサンブルコンテストに参加して

今回ヴォーカルアンサンブルコンテストに参加させていただき大変お世話になりました。

金賞及び総合第一位を受賞できましたこと大変うれしく思っております。ありがとうございます。

今回参加できたことでとても多くのことを学ぶことができました。

2020年の2月末に学校が休校になり、学校が始まっても『合唱』は感染リスクが高い活動という理由で、NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクールも中止となりました。コンクールだけでなく地域のイベントなどが中止となり、発表という場がなくなっていったことは私たちの学校だけではなかったと思います。

結果、2020年の合唱活動は、リモート合唱コンクール、動画提出でのコンクール、動画での地域イベント出演、保護者会コンサート動画配信など、聴き手との間には大きな壁がありました。そういった中で、その動画を懸命に撮り続け編集してくれた部員や保護者の方々がいました。動画撮影や編集を1年間続けてくれた部員が今、振り返って次のように言っています。「～中略～それは編集をはじめたばかりの僕にとって、とても難しいことでした。途中であきらめかけました。でも、最初はたった1人の歌声だった動画がミックスすることでだんだんいつも聴こえていたように声が一体となっていくことがとても嬉しくなりました。」

学校に登校できなかつた頃、それぞれ生徒が家で撮影した動画を編集していた部員がこのように感じていたことに私は胸が熱くなりました。彼の「この体験」は、他者と共有した時間は、聴覚だけでなく人の心に刻まれていくものなのかと感じました。そして、私たちが共有している空間・時間は流れ去っていくけれど

も、その瞬間は普遍的であるからこそ、人は前に踏み出していかれるのだということ確信しました。

今回のヴォーカルアンサンブルコンテストは動画提出でした。でもそのときは部員皆で学校の階段で歌うことができました。それは4月のときとは違って同じ空間、同じ時間を共有するものでした。部活動の時間は制限されていたけれども何より大事な時間をお互いが共有できたこと、うれしく思いました。それは今までのコンクールでは感じることはできなかったことかもしれません。今回コンテスト開催にあたり県連の皆さまには、通常よりも大変なコンテストとなり、そのご尽力に御礼申し上げます。ありがとうございます。これからも「歌い続けていきたい」と思います。

(相模原弥栄高校合唱部 顧問 小川 英子)



リレーエッセイ No.33 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 宮本 益光先生です。

子どもたちと一緒に

ありがたいことに、女声、男声とさまざまな合唱団を指揮指導させて頂いているが、中でも楽しみなのが児童合唱である。まさに梁塵秘抄の言葉のごとく、その歌声は私を元気にする。

一方で児童合唱団の指導者は子どもたちの成長と共にあるのだから、その責任は決して軽くはない。歌が上手ければ良いというものではなく、仲間と共にあることの意義も学んでほしい。だから私は子どもたちには厳格に接する。

遅刻や無断欠席は許さない。仕方なく休んでしまった子がその休みを補う行動を取らないのも許さないし、休んだ子に仲間として手を差し伸べない団員も許さない。「一緒に息を吸わない者は仲間をバカにして



いるのと同じだ!」と厳しく指導しているので、団員にとって私は怖い存在かもしれないが、私は愛を持って叱る。

ある日のこと、小学生たちがクスクス笑って稽古に全く集中しない。別に笑えるような曲じゃないのに。

「集中しなさい!」彼らのあまりの集中力のなさに、私は大声を張り上げた。静まり返る稽古場。子どもたちの表情にも緊張がはしる。

「やり直しだ!」しばらくは調子がよかったのだが、途中、中学生の何人かがヒソヒソ喋っているではないか。

「なんだ、君たちは!歌う気がないのなら歌わなくていい!」

「…すみません」

私の指導力の無さか、これが私の限界なのか...私は悩みながら再びタクトを構えた。するとまた別の中学生たちが笑いを我慢しているではないか。私は堪忍袋の緒が切れた。

「君たちは良い演奏をしたくないのか!」うつむく団員たち。

「リーダー、どう思うんだ!」と私は高校生に問いかけた。

高校生答えて曰く「先生、大変申し上げにくいのですが、社会の窓が全開です」

なんたる不覚。子どもたちは私の社会の窓を見て笑っていたのだ。

しかし私も後には引けない。

「本番中、先生のチャックが下がっていたら君たちは歌わないのか?今日、先生はこのチャックを閉めません。はい、最初から!」

次回は福永 一博先生にお願いしました。

カノンコンサートガイド

9/11 (土)	湘南市民コール 第64回定期演奏会 18:30～ 藤沢市民会館 大ホール 入場料:1,500円(高校生以下800円)全席指定 お問合せ:https://sound.jp/shonan-shimin-chor/ 感染症対策のため全席指定になります。事前にチケットをお求めください。(ホームページで案内します。)
10/17 (日)	混声合唱団 翠声会 第43回定期演奏会 13:30～ カルッツかわさきホール 入場料:1,000円 お問合せ:白鳥 shirayumi102@gmail.com 翠声会HP https://suisaikai.jimdofree.com/ John Rutter作曲「Magnificat」、千原 英喜作曲「みやこわすれ」他
10/31 (日)	音楽工房 Rond 第9回演奏会 13:00～ 神奈川県民ホール 小ホール 入場料:無料 お問合せ:木村 090-9847-7078 指揮:木村 茂雄 ピアノ:池谷 眞子 今、歌える喜びを伝えたい! 曲目:「スターバト・マーテル」他

【お詫びと訂正】

カノン 113号(2021年度春号)に以下の記載もれがありました。

p8の右上の表「第10回 関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト審査結果」の小学校・中学校部門に「桐蔭学園小学校合唱団 銅賞」の記載がもれてしまいました。桐蔭学園小学校合唱団並びに関係の皆様にご迷惑に深くお詫び申し上げます。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ 無料掲載:「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆ 有料掲載: 1/8^号 ¥2,500、1/4^号 ¥5,000、1/2^号 ¥10,000、1^号 ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにつきましてはお断りすることがあります。有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。※切り厳守でお願いします。

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿〆切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2021年8月～2022年3月)

●第64回神奈川県合唱コンクール	8月18日(水)	戸塚公会堂
	8月21日(土)	もみじホール城山
●第27回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル	11月18日(木)	やまと芸術文化ホール
●第55回メサイア演奏会	12月12日(日)	神奈川県立音楽堂
●かながわユース・コーラルフェスト 2021	12月19日(日)	清泉女学院講堂
●第24回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト	2022年 1月16日(日)	神奈川県立音楽堂
●第44回神奈川県合唱フェスティバル	2月11日(金・祝)	神奈川県立音楽堂
●第40回神奈川県ジュニア合唱祭	3月27日(日)	関内ホール 大ホール

編集後記:長引くコロナ禍のなかでも、工夫して活動を続けたり、制約の中で新しい喜びを見つけたりしている合唱団があります。お互いに刺激し合ったり支え合ったりしながら、この困難なコロナの時期を乗り越えていきたいですね。(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 志澤 彰 編集責任者:青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL:045-681-6033 FAX:045-662-5119

スタッフ常駐:平日:月火木金(休祝日を除く)12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

